

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2294200908		
法人名	株式会社ユニマツリタイアメント・コミュニティ		
事業所名	中野新田グループホームそよ風(やすらぎユニット)		
所在地	静岡県駿河区中野新田254-5		
自己評価作成日	令和2年7月20日	評価結果市町村受理日	令和2年10月30日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kajigokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;jigyosyoCd=2294200908-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kajigokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;jigyosyoCd=2294200908-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	令和2年8月11日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

料理に力を入れております。料理が得意な職員に新しい料理を取り入れ、利用者様に食べて頂き、評価がよければ献立に入れていきます。味付けも薄味好きや、濃い味好きとしますので、その方にあった味付けをできるだけするようにして工夫しています。ホームだけの食事だけではなく、いつもとは違った場所での食事楽しんで頂けるように努めています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

長く勤務していた女性管理者の跡を引き継ぎ、法人内からの転勤で男性管理者が着任しています。職員の入れ替えもあったことから場の雰囲気も多少違うように見え、新たなスタートを切った感がありますが、事務所には「緊急時のバイタルサインの確認法」「事故発生時の社内報告フロー」「単独外出の心得」と、マニュアルやフローが整然と連なり、身体拘束廃止やコロナ対策に法人の堅固さが見てとれる点は変わらずです。また300余ある法人内のどの事業所も作品を持ち寄る「そよ風文化祭」には、当事業所も「編み物」「昇り竜(貼り絵)」「スクラッチアート」を出展、利用者本位のケアが日々あることをアピールしています。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	幸せを創造していく理念に基づきご利用者様・ご家族様、職員の幸せを共感・共有しながら共に生きていけるように職員・管理者が努力しています。	理念は玄関に掲示、朝礼訓示としておこなうこともあり、省みる機会もあります。現在はコロナ対策を第一として、「手洗い」「検温」「マスク着用」を順守して、利用者利用者家族の幸せにつながるよう励んでいます。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域のイベントに参加し地域の方との交流が行えるように努めています。散歩の際は職員が積極的に挨拶を行い地域の方々に皆様を覚えて頂くように努めています。	ボランティア来訪が活発で、地域行事にも積極的に参加した頃が懐かしい程遠のいています。が、医療従事者の頑張りにより少しでも役に立ちたいと、系列の販売品であるドリップ式コーヒーを病院に寄贈するなど、地域に貢献する気持ちは忘れてはけません。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進委員会時に、認知症についてのケアの仕方などの質問にお答えする等、不安に思われている事を相談できるような体制づくりに努めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ご利用者様の活動報告やサービスについて報告を行っています。又、地域の皆様の意見を伺いサービスの向上に努めています。	隔月開催をつつがなく続けてきた運営推進会議も、コロナ禍により4月と6月は集まることを控えています。内部作成の資料を地域包括支援センター職員や町内会長に届け、「ご意見があれば…」とお願いするに至っています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	日頃わからない事があれば、市の担当者へ電話等でお聞きしています。	前回の運営推進会議の議事録と次回の案内を行政窓口へ届けることを慣習とし、変更届や加算の書類があるときにも訪ねています。また、市主催の研修会や集まりは中止となっていますが、コロナに係る対応については都度通達を受けています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を月に1度開催しています。また身体拘束について毎月の全体会議で研修を行い、身体拘束をしないケアについて話し合いをし現場では職員同士声を掛け合いながら身体拘束をしないよう努めています。	身体拘束廃止未実施減算については、本部のコンプライアンス推進部の整備も手厚く、「身体的拘束適正化・虐待防止検討委員会」を設置のうえ、3ヶ月に1度の委員会開催も「毎月開催」と細目に取り組み、「虐待の芽チェックリスト」等補完材にも余念がありません。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束委員会で虐待についての研修も同じように行っております。管理者、職員で虐待に繋がらないよう注意を払っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見制度について内部で学んでいます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者様やご家族様に十分に理解して頂けるように説明し疑問があれば納得して頂けるようにお話をしています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様が面会に来られた時は、意見要望をお聞きするように心がけています。ご意見箱を設置し気軽にお話して頂ける環境に努めています。	面会は玄関のみとなり、じっくり会うことが叶わなため、電話で話す機会を増やしたり、個々の情報もできるだけ電話で速やかに伝えていきます。家族はこのような中でも衣替えの補充などに尽力くださっています。	「職員の申し送りができているのか？気になることがあった」との家族の進言は、貴重な向上点として今後の取組みに反映させることを期待します。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	三役会議・ユニット会議・全体会議を開き話し合いの場を設けています。	新管理者は帰り際の職員に必ず声をかけ、ねぎらったり、「最近、どう？」と様子を確認するよう努めています。また「1ユニットだけしか知らないのでは何かにつけ困る…」として、職員のシフトは意識的に固定化せず、皆で声をかけあって助けあえる体制を目指しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に数回面談を実施し、職員の状況を把握し困っている事がないか等の意見を聞き、働きやすい環境づくりに努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全体会議時等の内部研修や外部研修に積極的に参加してもらおうと努めています。外部研修で学んだ事を研修報告書にまとめ他の職員に共有しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域同業者との会議等に参加し会議等で知り合った参加とネットワークづくりや意見交換をしてサービス向上に努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面接時に本人の要望や不安なことを聞きそれにお答えしながら、安心して頂ける関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に家族との面接で困っていることや不安に思っていること要望をお聞きし安心して入居できるよう関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族の面接時に生活状況をお聞きし、まず何が必要かを考え、必要であれば他のサービスの利用についてもお話をしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、ご利用者様と生活を共にし家族の一員のような関係づくりを築くように努めております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月ホーム便りをご家族にお送りし本人の写真と共に普段の様子や変わった事を伝えていきます。また状態に変化があった時には、その都度電話でお伝えしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や友人には、いつでも面会に来ていただけるようお願いしています。また家族との外出や外泊もして頂いています。	コロナが一度終息した1ヶ月間は家族も面会に訪れ、賑わいが戻りましたが、再び自粛となり、窓や玄関のガラス越しの逢瀬のみとなっています。家宅と同じく美味しい静岡茶を毎食飲み、中には日記を日々つける人もいて、できることは続けられるよう支援しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションでは合同レクを行い、利用者様同士がコミュニケーションを取れるよう支援しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、必要に応じて相談や支援をしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	自分の思いが言える方には本人から希望を聞き、それに向かって支援しています。困難な方は本人の立場で考え、支援していけるよう努力しています。	新規入居者にはアセスメントシートに基づいたカンファレンスを以て情報共有を確かなものとし、利用者本人の不安をおもんばかって極力声かけをおこない、「なるべくお困りのことがないように」との思いを一つに努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者様や家族の方とのお話の中で生活歴や馴染みの暮らし方を把握するよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者様の健康状態把握の為、バイタルチェックを行っています。 心理状態については、ご利用様の様子を観察し状況の把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、家族に聞き取りし課題についてどんなケアを望んでいるかを把握しそれを元に介護計画を作成しています。	介護計画書は「その人の思いをどれだけ実現できるか」を核として作成していますが、現在ユニット会議開催が不定期なため、管理者が「定期化を」奨励、ペーパーレスが浸透し、法人導入のタブレットチェックが共有化を更に後押ししています。	「介護計画書について話し合う場をつくってほしい」とする家族もいることから、(家族側の理由や都合はあるも)日程調整への取組みを期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を観察しながら問題点等を見直しを実践し、結果を職員間で共有し介護計画に反映しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個人のニーズに合ったサービスが行えるように努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の資源を把握し、個々に合った活用法の提供ができるように努めています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医の往診が月に2回あり、ご利用者様に何かあった時には協力医に連絡をすくに対応してくれています。個人受診では家族の方が対応してくれています。	協力医の訪問診療は週2、3日あります。1日に付き2、3名としており、順次18名が受診して、1名あたり2週間に1回の医療機会をもっています。また、同じ医院であっても担当医師は各自別なので、入れ替わり立ち代わり医師の出入りがあります。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師が週に1度健康管理に来ており、その時に個々のご利用者様の普段の情報や気づきを相談している。何かあったときには協力医に連絡するよう指示を受けています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様が入院した際は、ご利用者様の普段の様子をお伝えし、退院の際は、情報を頂き施設の生活に早く戻れるようにしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合、ご家族様の考えやご本人の考えを入所前にお伺いしておりますが、その場になるとご家族様の考えが変わる事がある為、ご家族やご利用者様の希望を聞き、方針を決め看護師・介護者の連携を取りながら支援しています。	「認知症対応型共同生活介護における重度化した場合の対応・看取り対応に関する指針」にて契約時に家族に説明をおこない、合意形成しています。新体制となってからは看取り実績はありませんが、これまでは諸所家族へ助言できる態勢にあり、家族の信頼を集めてきています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ご利用者様の急変時、事故発生時は、マニュアルに沿って行うように指導している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時に備えての避難訓練を年に2回行っています。地域の方々にもご協力をお願いしています。	コロナ禍なものの、5月に昼間の地震想定で避難訓練をおこない、より実践的に利用者も一旦駐車場に出ています。従来通り時間計測もおこない、新採者も手馴れていることを確認できました。また本件についても法人指導が徹底され、非常食は1週間分備わっています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの性格を把握し、言葉遣いや声の掛け方に注意を払い対応しています。	事務所のパソコンにはパスワード設定があり、個人ファイルなど個人情報にかかわる書類棚には鍵がかかっています。ややデリカシーに欠ける職員もいるため、管理者を筆頭に職員間で注意またはフォローしあって、利用者の尊厳を護っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の中でご利用者様に自己決定ができるような声掛けをするよう心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様それぞれのペースを大切に、やりたい事を自由にやっています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で服を選べる方にはご自分で選んで頂いています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	簡単な片づけや準備ができる利用者様には、職員と一緒にやっています。	1~2週間の献立表をつくり、現在は直接の買い物と業者注文が半々となっていますが、調理は手作りです。「季節を感じてほしい」と、夏にはソーメンやスイカといった時節ならではのメニューを日々取り入れるよう苦心しています。	「食事はどのようなものを食べているのか」「メニューや形態などを教えてほしい」とする家族もいます。コロナで室内掲示ではまかなえないため、定期的な個別送付も検討ください。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1人ひとりの状態を把握し、食べる量、水分量を調整し毎日記録に残しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行っています。口腔状態によってハブラシの人やクルリーナブラシで対応しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の記録をつけており、個々の排泄パターンを把握しトイレ誘導やトイレの声掛けをしています。	平均介護度3とやや重度化な中、ベッドで大半を過ごしている利用者が1名いて、ベッド上のおむつ交換となっています。それでも「できるだけトイレで」に向き合い、職員の手引き歩行でトイレまで時間をかけてゆく姿もあります。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	腹圧の運動や歩行練習、散歩を行い、食物繊維の豊富な食事を提供をしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご自分で意見ができる方は曜日や時間帯を聞き、なるべくご本人の意志に沿えるよう努めています。気が乗らない方は無理強いせず曜日をずらす等柔軟に対応をしています。	入浴剤を数種類を用意して、「今日はこの色にしますか?」と、利用者を選んでもらうようにしています。湯は一人ひとり入れ替え、3日空くことのないよう声をかけていて、当初は嫌がっていても湯に浸かると気持ちがほどけて歌をうたう人もいます。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣に応じ就寝時間も違っている為、眠れる時間までリビングでお過ごし頂いたり居室でくつろげれるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情報は個人ファイルに綴じており、職員がいつでも確認できるようにしてあります。薬の変更があった時には必ず効果、副作用を職員同士で確認し理解しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活にメリハリを付けていただけるようにレクリエーションを行っています。また外出レクやボランティア、シニアサポーターさんに来ていただき話し相手になって頂いています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	1人ひとりその方にあつた外出ができるよう心がけています。行きたい所がある方には希望に添えるよう職員同士で話し合いをし下見に行き、どこを回ろうかと調査をして、外出レクを行っています。	コロナで外出は控えていますが、マスク着用での散歩や外気浴は継続しています。遠出できない分、少しでも外での気分をと、幕の内弁当を取り寄せるなどの工夫をおこなっていて、解禁となる日を皆で心待ちにしています。	市内のブドウ園でのブドウ狩りが恒例でしたので、ブドウを購入して室内で模擬ができたなら、なお良いと思います。



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様よりお金を預かっています。必要な物があればご家族に相談し許可をもらい買い物に付き添っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	現時点では携帯電話を所持している方はいませんが、持っている方がいた時には、ご利用者様がご自分でご家族に連絡をされたりしていました。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間は居心地がいいと思って頂けるよう心がけています。季節が解るよう飾りつけに季節感が感じられる飾りつけをして工夫しています。	次亜塩素酸水の拭き上げは以前より回数を増やしています。コロナ禍で室内で過ごすことが大半となっているため、環境設定はより力を入れ、壊れていたドアの修繕や物品補充を進めていますが、畑の耕作は現在中断しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはソファを配置しているので、ご利用者様同士で座りながらお話をされくつろいでいます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、使い慣れた物や大事にしていた物などを持ってきて頂き、本人が安心して過ごせるようにして頂いています。	テレビや仏壇の持ち込みはありますが、プラスチックケースが主流となり、その人らしい部屋で暮らす人は少なくなっています。中にあるものを取り出したり、片付けができる人はほとんどいないため、細かなことは職員がおこなっており、元あった位置に戻すことに注意しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物はご利用者様の危険がないようにバリアフリーにしています。ご利用者様の自立した生活が送れるように工夫しています。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2294200908	
法人名	株式会社ユニマツリタイアメント・コミュニティ	
事業所名	中野新田グループホームそよ風(ゆとりユニット)	
所在地	静岡市駿河区中野新田254-5	
自己評価作成日	令和2年7月20日	評価結果市町村受理日 令和2年10月30日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kajikensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;jiyosyoCd=2294200908-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kajikensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;jiyosyoCd=2294200908-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	令和2年8月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

料理に力を入れております。料理が得意な職員に新しい料理を取り入れ、利用者様に食べて頂き、評価がよければ献立に入れていきます。味付けも薄味好きや、濃い味好きとしますので、その方にあった味付けをできるだけするようにして工夫しています。ホームだけの食事だけではなく、いつもとは違った場所での食事を楽しんで頂けるように努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

長く勤務していた女性管理者の跡を引き継ぎ、法人内からの転勤で男性管理者が着任しています。職員の入れ替えもあったことから場の雰囲気も多少違うように見え、新たなスタートを切った感がありますが、事務所には「緊急時のバイタルサインの確認法」「事故発生時の社内報告フロー」「単独外出の心得」と、マニュアルやフローが整然と連なり、身体拘束廃止やコロナ対策に法人の堅固さが見てとれる点は変わらずです。また300余ある法人内のどの事業所も作品を持ち寄る「そよ風文化祭」には、当事業所も「編み物」「昇り竜(貼り絵)」「スクラッチアート」を出展、利用者本位のケアが日々あることをアピールしています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	幸せを創造していく理念に基づきご利用者様・ご家族様、職員の幸せを共感・共有しながら共に生きていけるように職員・管理者が努力しています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のイベントに参加し地域の方との交流が行えるように努めています。散歩の際は職員が積極的に挨拶を行い地域の方々に皆様を覚えて頂くように努めています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進委員会時に、認知症についてのケアの仕方などの質問にお答えする等、不安に思われている事を相談できるような体制づくりに努めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ご利用者様の活動報告やサービスについて報告を行っています。又、地域の皆様の意見を伺いサービスの向上に努めています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	日頃わからない事があれば、市の担当者に電話等でお聞きしています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を月に1度開催しています。また身体拘束について毎月の全体会議で研修を行い、身体拘束をしないケアについて話し合いをし現場では職員同士声を掛け合いながら身体拘束をしないよう努めています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束委員会で虐待についての研修も同じように行っております。管理者、職員で虐待に繋がらないよう注意を払っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見制度について内部で学んでいます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者様やご家族様に十分に理解して頂けるように説明し疑問があれば納得して頂けるようにお話をしています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様が面会に来られた時は、意見要望をお聞きするように心がけています。 ご意見箱を設置し気軽にお話して頂ける環境に努めています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	三役会議・ユニット会議・全体会議を開き話し合いの場を設けています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に数回面談を実施し、職員の状況を把握し困っている事がないか等の意見を聞き、働きやすい環境づくりに努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全体会議時等の内部研修や外部研修に積極的に参加してもらおうと努めています。 外部研修で学んだ事を研修報告書にまとめ他の職員に共有しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域同業者との会議等に参加し会議等で知り合った参加とネットワークづくりや意見交換をしてサービス向上に努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面接時に本人の要望や不安なことを聞きそれにお答えしながら、安心して頂ける関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に家族との面接で困っていることや不安に思っていること要望をお聞きし安心して入居できるよう関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族の面接時に生活状況をお聞きし、まず何が必要かを考え、必要であれば他のサービスの利用についてもお話をしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、ご利用者様と生活を共にし家族の一員のような関係つきりを築くように努めております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月ホーム便りをご家族にお送りし本人の写真と共に普段の様子や変わった事を伝えています。また状態に変化があった時には、その都度電話でお伝えしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や友人には、いつでも面会に来ていただけるようお願いしています。また家族との外出や外泊もして頂いています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションでは合同レクを行い、利用者様同士がコミュニケーションを取れるよう支援しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、必要に応じて相談や支援をしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	自分の思いが言える方には本人から希望を聞き、それに向かって支援しています。困難な方は本人の立場で考え、支援していけるよう努力しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者様や家族の方とのお話の中で生活歴や馴染みの暮らし方を把握するよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者様の健康状態把握の為、バイタルチェックを行っています。 心理状態については、ご利用様の様子を観察し状況の把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、家族に聞き取りし課題についてどんなケアを望んでいるかを把握しそれを元に介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を観察しながら問題点等を見直しを実践し、結果を職員間で共有し介護計画に反映しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個人のニーズに合ったサービスが行えるように努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の資源を把握し、個々に合った活用法の提供ができるように努めています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医の往診が月に2回あり、ご利用者様に何かあった時には協力医に連絡をしすぐに対応してくれています。個人受診では家族の方が対応してくれています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師が週に1度健康管理に来ており、その時に個々のご利用者様の普段の情報や気づきを相談している。何かあったときには協力医に連絡するよう指示を受けています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様が入院した際は、ご利用者様の普段の様子をお伝えし、退院の際は、情報を頂き施設の生活に早く戻れるようにしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合、ご家族様の考えやご本人の考えを入所前にお伺いしておりますが、その場になるとご家族様の考えが変わる事がある為、ご家族やご利用者様の希望を聞き、方針を決め看護師・介護者の連携を取りながら支援しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ご利用者様の急変時、事故発生時は、マニュアルに沿って行うように指導している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時に備えての避難訓練を年に2回行っています。地域の方々にもご協力をお願いしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの性格を把握し、言葉遣いや声の掛け方に注意を払い対応しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の中でご利用者様に自己決定ができるような声掛けをするよう心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様それぞれのペースを大切に、やりたい事を自由にやっています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で服を選べる方にはご自分で選んで頂いています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	簡単な片づけや準備ができる利用者様には、職員と一緒にやっています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1人ひとりの状態を把握し、食べる量、水分量を調整し毎日記録に残しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行っています。口腔状態によってハブラシの人やクルリーナブラシで対応しています。		



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の記録をつけており、個々の排泄パターンを把握しトイレ誘導やトイレの声掛けをしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	腹圧の運動や歩行練習、散歩を行い、食物繊維の豊富な食事を提供をしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご自分で意見ができる方は曜日や時間帯を聞き、なるべくご本人の意志に沿えるよう努めています。気が乗らない方は無理強せず曜日をずらす等柔軟に対応をしています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣に応じ就寝時間も違っている為、眠れる時間までリビングでお過ごし頂いたり居室でくつろげれるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情報は個人ファイルに綴じており、職員がいつでも確認できるようにしてあります。薬の変更があった時には必ず効果、副作用を職員同士で確認し理解しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活にメリハリを付けていただけるようにレクリエーションを行っています。また外出レクやボランティア、シニアサポーターさんに来ていただき話し相手になって頂いています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	1人ひとりその方にあつた外出ができるよう心がけています。行きたい所がある方には希望に添えるよう職員同士で話し合いをし下見に行き、どこを回ろうかと調査をして、外出レクを行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様よりお金を預かっています。必要な物があればご家族に相談し許可をもらい買い物に付き添っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	現時点では携帯電話を所持している方はいませんが、持っている方がいた時には、ご利用者様がご自分でご家族に連絡をされたりしていました。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間は居心地がいいと思って頂けるよう心がけています。季節が解るよう飾りつけに季節感が感じられる飾りつけをして工夫しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはソファを配置しているので、ご利用者様同士で座りながらお話をされくつろいでいます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、使い慣れた物や大事にしていた物などを持ってきて頂き、本人が安心して過ごせるようにして頂いています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物はご利用者様の危険がないようにバリアフリーにしてあります。ご利用者様の自立した生活が送れるように工夫しています。		